



2005年 ほたる

町ホタル専門員 竹内 勝彦

ふ化した幼虫たちは、これから

十カ月の中生活に入りますよ
卵から一年経って、やっとホタル
(成虫)になりました。

六月二十四日、二十五日にホタル
観察会を行いました。昨年より多く
のホタルが光り、来場いただいた方
に喜んでもらえました。

でも、このホタル(成虫)の命は
わずか一週間か十日くらいです。こ
の間に、オスとメスは、光で合図し
合って結婚し、メスは産卵します。
子孫(命)を残すには、あまりにも
短い日数ですね。近年、激減してい
るヘイケボタルを後世に残すために
も、ぜひ「ホタルは見るだけで、捕
らない」を守ってほしいものです。



産卵箱と幼虫飼育箱のセット



ヘイケボタルの卵

養殖場では、少しでもホタルを増
やすために、成虫を種ホタルとして
産卵箱に入れます。メスは、産卵箱
(ペットボトルでもできます)に敷
いたミズゴケに卵を産みます。卵は
二十日余の後、小さな幼虫となって
生まれ(ふ化し)、自分で水の中へ
入っていきます。生まれたばかりの
幼虫は、一〜二ミリの小さなもので
すが、数日後には餌の巻貝を探して
歩き回ります。

これから長い幼虫生活が始まるの
です。ヘイケボタルは四回脱皮して
成長します。四回の脱皮を終えて五
齢(終齢)に成長できた幼虫は、寒
い冬を越して、上陸の初夏を迎える
ことができます。さあ、幼虫たちよ、
元気に成長しておくれ。(完)

蒸し暑い夜 ホタルの観察は いかがでしょう

ホタルの観察

これが、「ヘイケボタル」を見るための3つのポイント

1.ホタルは初夏の水辺が大好き！

阿久比町の水田や川のほとりなどに多く生息するヘイケボタル。一年で最も多く見ることができる時期は、6月中旬から7月中旬までの約一カ月間です。淡い光で初夏の夜をほんのりと照らすホタルの姿は、阿久比町の夏の風物詩としてすっかりおなじみになりました。

阿久比町でも地区によって発生の時期に違いがあります。

2.ホタルは日没1時間～2時間が一番元気！

ホタルが最も元気に活動する時間は、日没後の約1時間から2時間にかけて。午後8時ごろから午後9時ごろまでが、発光するホタルの姿を確認できる時間です。ホタルの淡い光を美しく映し出す夜の闇が阿久比の町をすっぽりと包み始めたころ、町のあちこちで元気に飛び交うホタルを探しに、散歩気分であらゆる気にかけてみませんか。

3.ホタルの出現は、天候に左右される！

時間や場所はもちろん、当日の天候にもホタルの生息確認は大きく左右されます。ホタルが最も好むのは、風がなく、蒸し暑い夜。今にも雨が降り出しそうな天候時が一番活動的になります。気が滅入ってしまいそうな蒸し暑い夜も、ホタル探しには絶好のチャンスです。